

令和6年度 在宅医療・介護連携を考える集い アンケート結果

開催日時：令和6年10月3日（木） 13:30～15:30

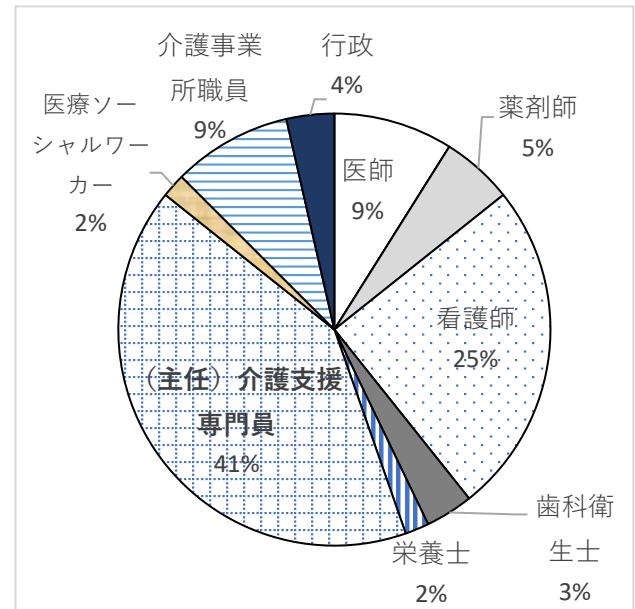
開催場所：たつの市はつらつセンター3階多目的ホール

参加者：78名

アンケート回答数：56（回答率：71.8%）

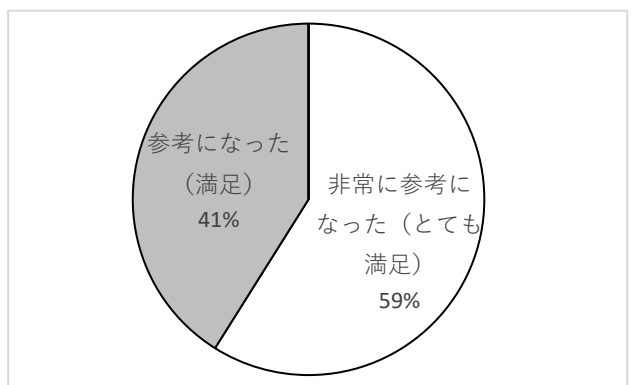
1. アンケート回答者の職種

職種	人数
医師	5
歯科医師	0
薬剤師	3
看護師	14
歯科衛生士	2
栄養士	1
（主任）介護支援専門員	23
医療ソーシャルワーカー	1
介護事業所職員	5
行政	2
計	56



2. 集いについての満足度

満足度	人数
非常に参考になった（とても満足）	33
参考になった（満足）	23
あまり参考にならなかった（やや不満）	0
参考にならなかった（不満）	0
計	56



【満足度の理由】

職種別の最優先事項を掘り下げたほうが明確になったのではないかな。

グループで皆様の話を聞きながらでき、楽しくグループワークができた。

みんなの話が聞けて良かった。

自分の知らない知識・情報を得ることができた。

他の医療機関の方の様々な意見が聞け、災害時のイメージトレーニングができた。

他の事業所の状況を聞いた。

病院で働いているため、患者さんの入院生活は見るものの、在宅の様子をイメージしづらかった。

今回の研修でケアマネや訪問看護師のような在宅の生活を支えておられる方の意見が参考になった。

BCPの具体化が多角的に感じる事ができたので、早急にBCPに取り組みたいです。

多職種で色んな意見が聞けた。病院で在宅との連携が少ないのでいろいろな意見が聞けて良かった。

近年大きな災害が起こり、いつ災害が起きるか分からないため、BCPの策定は大切だと思う。今回の研修はとても勉強になりました。

様々な業種の方々の見方についての意見が出て参考になった。
知らなかった情報が知れて良かった。
それぞれの職種によって考えや思いが違ってくるのが分かり良かった。情報収集ができた。
多職種の視点が分かって、災害時に必要なものが増えた。
活発な議論ができました。
具体的な内容を知ることができた。
知識が広い方の意見を聞くことができました。
初参加し、多職種でのグループワークは良かったと思った。
他事業所のBCPへの取組を知ることができ、参考になりました。
様々な職種・事業所の方と話すことができ、とても良い学びが多かった。
場面を分けて考え、他職種の意見を聞くことで必要なこと等の気づきがありました。
他職種の意見を聞くことができた。
別の居宅介護事業所の話が聞けた。実際に災害が起こってどうなるか、改めて考えることができた。
県外との連携について、医療のことを行いながら足りない物品を頼んだり、このようなことで困っているというシステムがあることを知りました。連携は行政の仕事と思っていたけど、自身でしていくことができるので活用する必要があると思いました。
多職種の意見が聞けたことがとても良かった。
知らなかったことも分かったため良かった。大変勉強になりました。
同じ職種間で話し合った後、課題を確認して他職種と話し合えると良かったかと思いました。
同職種、他職種の方の立場での意見を聞くことができ参考になりました。日頃の備えが大事なので今後も考えていきたいです。
多職種の方と意見交換できる場がありがたかったです。
多職種連携は情報収集の場だと思います。参考にさせていただける内容も多く、とても勉強になりました。
想い・考えを共有できた。
多職種の方と話す機会は少なく、なかなかないので良かった。
BCPに関して考える機会が得られ、自分が想定していなかった指摘があり有意義であった。
当院はBCPには全く取り組んでおらず、今回の会議で明日からすぐに取り組んでいきたいと思いました。
災害はいつ起こるか分からず、業務継続についてはイメージがつきにくい。机上訓練で色んな意見を伺って参考になった。
実際に事例としてシミュレーションができ、確認しなければならない所などが明確にでき、備えることの大切さが分かりました。
BCPは作成していますが、実際に災害が起こった時にどうするという事を考える機会になりました。また平常時に備える事・物について知ることができました。
様々な分野・立場の意見が聞けて参考になりました。
色々な事業所と連携についての話ができた。
医科・歯科・ケアマネ等の立場からの意見が聞けたことは大変参考になりました。日頃に何をしなければならぬかを気付かせてもらいました。
多職種で話ができ、色々な意見を聞くことができた。
地域で抱える悩みを率直にお聞きし、皆同じ課題があるとよく分かりました。
普段、情報交換の機会がない皆さんとの時間は有意義でした。
事業所や施設、薬局での災害の取り組みについて知る機会となった。
まだまだ経験不足の段階で、医師や色々な職種の方の意見をお聞きすることができ、大変勉強になりました。
多職種の意見を聞き、BCPを深く考える機会になった。

3. 多職種連携での課題や要望について

前提条件を共有しておく。
言葉・概念の統一化。
医師なので紹介状を作成したり、もらう側ではあるが、普段からの連携の機会が少なく、関係性は低いと考える。
今回のケースがもう少し具体性があれば話しやすかったかもしれないと思いました。

現在はPC、スマホでの連携になっているので電源が落ちた時の連携や情報共有が困難かもしれないと思った。

日頃から今回のように学ぶことにより、それぞれの課題も分かり協力し合う関係性ができると思う。平時から民生委員との連携が必要。

なかなか忙しい中で言えないこともある。

療養者の安否確認について、一人の方に複数の事業所から同内容の安否確認をすることは、逆に弊害になるのではないかと考えた。行政を含めた安否確認が出来たらよいのではないかと考えた。

なかなか他職種間で交流の場がない。

緊急時にスムーズな対応ができるよう、平常時から連携を図っていく必要があると思いました。

グループワークの前に簡単なレクチャーが欲しかったです。

研修でグループワークをすることはあるが、特定の事業所と連携することが多いので、機会があれば話せる場があれば良いと思った。

研修ではこんなに目線が違うということを面白く学習できるので機会が多くあればと思います。情報共有することが難しいと思いました。

BCP・安否確認を各方面から実施することになると思うが、できれば平時から情報一元化を図れたら、有事の混乱が防げると思います。

連携が必要なことが大事だということからもっと連携を。

訪問介護などのサービス事業所にも入ってもらい考えたら良かったと思います。

個人情報や民生委員さんに伝えることができないため連携が取りにくい。

BCPに関するテーマは自分の意識付けになり、新たな情報収集もできたので今後も必要だと感じました。

それぞれにできることに限界がある。互いの立場を理解できる機会になる。

それぞれの立場はあれど、思いは同じことが多いので普段から連携が取ればよいと思う。

BCPに向けての連携方法。

多職種で意見交換できる場があればありがたいです。

条件次第で連携量やできることに違いができてしまう。

個人や単独事業所でできることは限られていると感じた。他事業所や他職種との情報の一元化や助け合いを、こういった手段や方法で具体的にできるか考える必要があると思いました。

4. 今後の在宅医療・介護連携を考える集いのテーマについての要望

終末期医療の在り方。意思確認の方法。

非常時、病院・施設からあぶれがちな人々をいかにケアしていくか。

バイタルリンクの活用。

在宅での看取りについて。

ACPについて

テーマの内容が分かっていたら、もう少し考えてくる余裕があったと思う。

地域のつながりが作れる集い。

平常時の連携について。

今後のたつの市・太子町の人口統計と在宅医療のカバー率とか考えてみたいです。

他職種とはまだまだ関わる事が少ない。医療職との連携の事例があればと思う。

酸素ボンベ・物品・薬品・日用品の確保について。

平時から情報一元化できる連携の具体的方法について。

BCPについて深める。

互いに助けてほしいこと、してほしいこと。

ACPについての情報共有の方法。

看取りについて。

最期の食や在宅での嚥下コントロールについて、悩み・困り事の有無を聞いてみたい（栄養士）。

身寄りのない認知症高齢者の在宅療養について、認知症の進行段階別や平常時・入退院時・緊急時・看取り期の時期別での課題や考えられる取り組みを多職種で考えたい。

高齢でADL低下や認知機能低下した独居の方への対応について。

バイタルリンクの活用方法。

5. その他の意見・感想

立案・開催お疲れさまでした。どうもありがとうございました。

84名参加ながら、薬剤師3名は残念と思う。有意義なことが多いですが、開始時間の調整が業種によっては必要と思いました。

このような機会をいただき、本当によかったです。

貴重な機会になりました。ありがとうございました。

職種間での情報共有ができるようなツールがあれば参加したいです。

災害時に行政がしてくれることを具体的に教えてほしいです。

勉強になりました。

良い時間でした。ありがとうございました。

今回はこのようなグループワークに参加できてすごく良かったと思いました。他院・多職種でどのような取り組みをされているのか具体的に内容が詳しく聞けてすごく参考になりました。

本当はグループワークが苦手なので参加を悩んでいましたが、グループワークの大切さや貴重な意見交換ができて良かったです。ありがとうございました。

医師に手当てがあるのはなぜですか。

多職種で和やかに考えることができて良かったです。準備等もあり大変勉強になりました。参加された皆さんに大きな気付きがあった様子で充実した研修でした。ありがとうございました。

仕事により遅刻してしまったので、次回は最初からの参加ができるようにしたい。

グループワークは苦手ですが、多職種の意見が聞ける良い機会なので、今後も参加したいと思います。企画等大変でしょうが、多職種の集りが少ないので、今後も機会を設けていただきたいと思います。ありがとうございました。